

## EU 投資フォーラム: Why Should I Invest in the European Union?

2026 年 3 月 10 日 (火) 16:30~20:00 東京 (8:30~12:30 ブリュッセル)

### 橘 雅門氏 (丸紅株式会社 次世代社会基盤事業部長) による、EU における日本企業の投資・事業展開に関するケーススタディ紹介:

本日はご紹介するのは、当社が 2021 年に出資参画し、その後成長支援を行っているエストニアの次世代蓄電デバイスメーカー、Skeleton Technologies の事例です。その前に、なぜ総合会社である丸紅が蓄電デバイス分野に投資したのか、その背景を簡単にご説明します。

丸紅では、価値観や産業構造が急速に変化する中で、従来の事業部門だけでは捉えきれない新たな成長領域に取り組む必要があるとの考えから、2019 年に次世代事業開発本部を設置しました。私が所属する次世代社会基盤事業部では、卓越技術、DX・IT サービス、次世代産業基盤といった成長テーマに取り組んでいます。

蓄電分野は、電化や脱炭素の潮流を支える重要な技術であり、今後大きな成長が期待される領域です。関連技術の調査や投資先探索を進める中で、エストニアの Skeleton 社と出会いました。当社は 2019 年にタリンに駐在員事務所を設置しており、そのネットワークを通じて接点を持つことができました。

Skeleton 社は欧州最大級のスーパーキャパシタメーカーで、本社はタリンにあります。製造拠点はドイツ・ライプツィヒとフィンランドにあり、高出力・高速充放電・長寿命を特長とする蓄電デバイスを開発・製造しています。AI データセンターの消費電力の平準化や、再生可能エネルギー拡大に伴う系統安定化用途などで需要が高まっています。

当社が Skeleton 社に注目した理由は主に四つあります。第一に、競合を上回る製品性能と技術開発力です。第二に、欧州内での一貫生産体制によるコスト競争力と地政学リスク低減です。第三に、欧州では顧客基盤が整っている一方、アジア市場には大きな成長余地があったことです。第四に、脱炭素や戦略技術に関する欧州の公的支援制度の存在です。

当社は 2021 年に出資し、2023 年にはドイツ新工場建設に向けた追加出資も行いました。単に出資をするだけでなく戦略的パートナーとして、アジア市場での販売支援や用途開発、人材・経営面での関与などを通じて、同社の成長を支援しています。本日はご紹介した案件は、欧州の次世代技術に対する戦略的投資の一例です。皆様は EU への投資や日 EU 経済連携を考える上で、少しでも参考になれば幸いです。